

Faculty of
Life Sciences



国際学術誌に
掲載された論文数

東京農業大学
生命科学部3学科平均

No. 1

東京農業大学 生命科学部の競合する
13大学18学科のうち

※1

東京農業大学

生命科学部

分子生命化学科

分子微生物学科

バイオサイエンス学科

未知の発見に挑む

その大学名から、「植物や自然を研究している」「農業をやりたい人が集まっている」といったイメージが強い東京農大。しかし実際には「ヒト」などの命に関する研究も幅広く行われ、さまざまな成果をあげています。

その活動の舞台となっているのが「生命科学部」。医学や薬学などに関心がある皆さんの探究心や好奇心も満たせる学部です。

今すぐ学科をCHECK!

生命科学部

Faculty of Life Sciences

研究力が高い私立大学 /



全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学
全国784大学、関東250大学、東京地区134大学のうち

分子生命化学科

KEYWORDS

原子・分子 医薬・農業・動物薬 バイオポリマー

ケミストリーの視点から生命現象の謎を解く

生命現象を原子・分子の視点から理解することをゴールとする学科です。化学をしっかり学ぶことにより物質の量・濃度に加え性質を理解し、最終的には生命現象の根本にある化学反応や相互作用を解明することに繋がります。伝統的な天然物合成や多様な化学分析技術と分子生物学などの生命科学研究方法を融合して、医薬・農業・動物薬や高機能バイオポリマーの研究に応用していきます。

学科詳細はQRをチェック!



有機化学分野

分子設計学研究室

伝統的な有機合成化学と計算化学の融合領域を研究教育の対象としています。合成する分子構造は、天然由来にこだわらず化学物理または物理化学の原理に基づいて設計します。

有機合成化学研究室

自然には有用な化合物が微量しか存在しません。そこで有機合成化学的手法により大量に作ることで、さらに新しい触媒を開発して化合物を合成し、薬の材料となる成分を効率的に作る方法にも取り組んでいます。

分子機能解析学分野

ケミカルバイオロジー研究室

化学の理論や手法を活用し、生命現象を化学スケールで理解しようとしています。薬と標的タンパク質のドッキングを立体的に調べ、薬の設計に役立てます。また、生物の化学感覚受容から進化や種分化について考えます。

分析化学研究室

生物の体は様々な分子で構成され、これらを巧みに利用して、それぞれの生物種に特徴ある生命活動を営んでいます。生物が生きている仕組みを化学的に説明するため、これら分子の化学構造や働きを研究しています。



生命高分子化学研究室

植物や微生物が作るバイオポリマーを使い、生分解性や生体吸収性の材料に応用します。バイオポリマーの化学構造と物理特性に基づいて機能を制御し、細胞や微生物との相互作用についても調べます。



生命科学部では
全ての生命のサイズで研究!

分子生命化

1Å
(10⁻¹⁰m)

従来の農学の概念から飛び出し、
理学、工学、医学、薬学をも取り込んだ複合的な最先端の教育と研究により、
農にまつわる生命現象の謎にチャレンジする

生命科学部の研究対象は多岐にわたり、有機化合物や遺伝子から微生物、ヒトや動植物まで、生命の全てのサイズを網羅しています。私たちの目標は、生命現象の基本原則を分子から微生物、動植物まで包括的に理解し、論理的思考力を養い、持続可能な社会の発展に貢献するリーダーを育成することです。このため、先進的な知識や実験技術を習得するだけでなく、科学的思考力やコミュニケーション能力を養います。また、国際的な活躍を目指すために英語力を向上させ、実社会で活動する力を養います。さらに、他学科の専門科目も履修可能な学科横断的なカリキュラムを提供し、幅広い専門知識を身につけます。最先端の研究活動によって理論と実践を結びつけ、新たな発見を世界に向けて広く発信します。未来の教科書に載るような発見を目指し、生命科学部で新たな挑戦に取り組んでください。

分子微生物学科

KEYWORDS

微生物機能 未知微生物 腸内フローラ

微生物が活躍するミクロの世界を 先端科学で解明する

微生物は我々の目に見えないミクロの世界で活動し、動・植物の健康や地球環境の維持に多大な影響をおよぼしています。しかし人類がこれまでに発見できた微生物はその総数のほんの数%とされています。本学科は微生物が関与する未知の生命現象を生命科学の力で解明する「微生物学」のエキスパートを育成します。

学科詳細は
QRをチェック!



微生物機能分野

資源生物学研究室

未知微生物の発見と新規な生命現象の発見を目指し、極限環境に生息する究極の生命力を持つ光合成微生物の発見と有用物質生産、またヒト腸内の嫌気環境に棲息する微生物の生態系、生存戦略を研究し、微生物学の発展に貢献します。

生物間相互作用分野

植物共生微生物学研究室

植物に病気をもたらす微生物とそれに対する植物の応答メカニズムを解明することで「植物病害の防除」を目指します。また、微生物による植物の成長促進および環境ストレス緩和の仕組みを解明することで「農業・森林生態系の保全」を目指します。



バイオインフォマティクス研究室

コンピュータを駆使して、微生物のゲノム情報などのビッグデータを活用し、培養しない微生物の特徴や進化を調べる研究や、乳酸菌の新たな機能の発見、生命システムのデザインといった研究に取り組んでいます。

動物共生微生物学研究室

微生物と宿主動物の間で行われる様々な相互作用について、その物質的な基盤や遺伝子の機能、免疫系など宿主への影響を分子レベルで解明し、得られる知見を利用して健康増進、家畜の生産性、物質の生産・分解の向上などを目指します。

複合微生物学研究室

様々な環境中に生息する微生物の機能や微生物間の共生関係を明らかにし、さらに環境変化やストレスに対する微生物の環境応答について分子レベルで解析し、有用物質生産、未利用資源の利用、微生物機能の動・植物への複合利用を目指します。

バイオサイエンス学科

KEYWORDS

バイオテック ゲノム 脳科学 生殖

遺伝子の働きを理解し、遺伝子の力を応用する

遺伝子は生命の設計図。最先端のバイオ技術を駆使して、遺伝子の働きを解き明かし、遺伝子の力を最大限に引き出すことで、人類が抱えている食料、健康、環境保全の諸問題の解決をめざします。ボーダーレスの時代である今こそ、農学の枠を超えて、医学、薬学、工学に至る応用にチャレンジする。これがバイオサイエンスです。

学科詳細は
QRをチェック!



植物分野

植物遺伝子工学研究室

植物は過酷な環境に適応して進化してきました。この研究室では、モデル植物を使って、環境適応のしくみを分子進化の観点から研究しています。植物の環境への反応を遺伝子レベルで理解し、新しい農業技術の開発を目指します。

植物分子育種学研究室

作物の成長やストレスへの対応などのしくみを分子レベルで研究しています。高等植物のゲノム情報や遺伝子工学技術を駆使し、付加価値の高い作物を育てることを目指しています。

動物分野

動物発生工学研究室

細胞工学や遺伝子工学の技術を使って、生殖細胞の機能や胚発生にともなう細胞分化のしくみを研究しています。これらの研究を通して、家畜の効率的な生産や人間の生殖医療の向上に貢献したいと考えています。

動物分子生物学研究室

遺伝子工学や iPS 細胞技術を使って、脳の高次機能や脳疾患の発症のしくみを研究しています。さらに、栄養や環境が脳機能に与える影響にも注目する「農学的な」脳研究も行っています。

細胞分子機能分野

細胞ゲノム生物学研究室

細菌から哺乳動物までのさまざまな細胞の遺伝情報を調べ、生命の全体像を理解しようとしています。最新の遺伝子編集技術や合成生物学を使って、がんや感染症などの健康問題を解決し、持続可能な物質生産方法を開発しています。

機能性分子解析学研究室

微生物から高等生物までの細胞内で起こる小さな分子とタンパク質の関係を調べ、その重要性を解明します。その成果を元に、医薬品や農業、有用な酵素などの開発を目指しています。

学科

分子微生物学科 バイオサイエンス学科



原子間距離



有機化合物
アミノ酸、薬など

1nm
(10⁻⁹m)

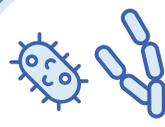


DNA
(直径)



蛋白質

1μm
(10⁻⁶m)



細菌
乳酸菌など



動物細胞

1mm
(10⁻³m)



胚



生体

1m
(10⁰m)

POINT
01

幅広い生命科学を自分好みにカスタマイズ！

学科横断的カリキュラム

学科独自の科目に加え、生命科学部の横断プログラム「学部共通科目」を受講することで、幅広い専門性を身につけます。

学部共通科目	学科専門科目
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生物環境科学 ■ バイオインフォマティクス ■ 植物病理学 ■ アイソトープ利用論 ■ 植物分子遺伝学 ■ 植物分子育種学 ■ 動物分子遺伝学 ■ ゲノム生物学 ■ バイオプロセス工学概論 ■ 分子設計学 ■ 機器分析学 ■ 農薬化学・毒理学 ■ 糖質化学 ■ 危険物取扱法 ■ 知的財産概論 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>分子生命化学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 有機化学(一～四) ■ 無機化学 ■ 分析化学 ■ 高分子化学 ■ ケミカルバイオロジー ■ 農業と化学 ■ 基礎及び有機化学実験 ■ 有機合成化学実験 ■ 無機及び分析化学実験 ■ 高分子化学実験 ■ ケミカルバイオロジー実験 ■ 農場実習 </div> <div style="width: 30%;"> <p>分子微生物学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 微生物学(一) ■ 微生物学(二) ■ 極限環境生物学 ■ 生物化学 ■ 免疫・生体防御学 ■ 食品衛生学 ■ 応用微生物学 ■ 基礎化学実験 ■ 分析化学実験 ■ 微生物学実験 ■ 生物化学実験 ■ 分子生物学実験 </div> <div style="width: 30%;"> <p>バイオサイエンス学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 分子生物学 ■ 基礎分子遺伝学 ■ 生化学 ■ 植物生理学 ■ 動物生理学 ■ 栄養化学 ■ 無機化学実験 ■ 有機化学実験 ■ 微生物学実験 ■ 基礎生物学実験(一) ■ 生化学実験 ■ 基礎生物学実験(二) </div> </div>

Curriculum

研究力を育む独自カリキュラム

論理的思考力を磨き、研究成果の社会実装を通じて持続的な世界の発展に寄与するグローバル人材を育成します。

1年次

基礎を学び直す

大学受験科目としなかった学生でも安心！
高校の化学と生物をきちんと学び直します。

2年次

まずは研究に慣れるために
思う存分実験実習！

前期 週2回/後期 週2～3回

POINT 01 学科横断的 カリキュラム

POINT 02 将来を見据えた英語教育

POINT
02

英語を「勉強する」から「使う」へ

将来を見据えた英語教育

English Program for Academic Capabilities Enhancement (EP-ACE)

生命科学部では3人に1人が大学院に進学します。大学院生は年に数回、学会にて英語でポスター発表や口頭発表をします。生命科学部では研究成果を世界に発信することを目指して、英語の応用力の強化に力を入れています。

	1年次	2年次	3年次
必修科目	<p>学術英語を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 英語(一) Paragraph writing 大学入学までに培った英語力を基盤に学術英語(academic English)を強化する ■ 英語(二) Essay writing 特定のテーマに基づいて収集した情報を取捨選択し、考察する 	<p>プレゼンやレポート表現を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 英語(三) Oral presentation and discussion 特定のテーマでリサーチを行い、結果を口頭で発表し、質疑応答する ■ 英語(四) Research report writing 特定のテーマでリサーチを行い、リサーチレポートにまとめる 	<p>科学英語特有の表現を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Academic English for Life Sciences 英語で科学を理解するために必要な科学英語特有の語彙と構文を学ぶ
選択科目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎英語 必修英語科目の履修に必要な文法・読解・作文のスキルを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TOEIC 英語(一) テスト対策を中心に、英語の技能を伸ばす ・ Listening & Reading ・ Speaking & Writing どちらかのクラスを選択 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TOEIC 英語(二) テスト対策を中心に、英語の技能を伸ばす ・ Listening & Reading ・ Speaking & Writing どちらかのクラスを選択

\\ 大学院入試にも就職にもTOEIC！ /
本学大学院の入試では、英語能力をTOEICスコアで評価します。また、TOEICスコアは就職活動にも利用できます。授業を活用して卒業までに高得点取得を目指しましょう！

3年次

それぞれの研究室で
専門的な研究に取り組む

研究室では教員3人体制の手厚い指導の元、
高い研究能力を育みます。

3年次から
全員研究室
に配属されます

4年次

大学院進学や
就職を視野に入れた
より高度な研究に着手

取得できる資格
司書、学芸員、危険物取扱者、
食品衛生監視員など

教員免許状取得件数
高等学校30件/中学校26件
(2023年度卒業生データ)

詳しくは
P.12をチェック！



大学院奨学金制度

第一種奨学生	第二種奨学生
博士前期課程及び博士後期課程在籍者全員	東京農業大学 学部卒業生
授業料の2分の1及び整備拡充費の2分の1を免除	入学時入学金を免除

01
学部紹介

02
カリキュラム

03
研究成果

04
キャンパスライフ

05
卒業生インタビュー

高い研究力による 多種多様な研究成果

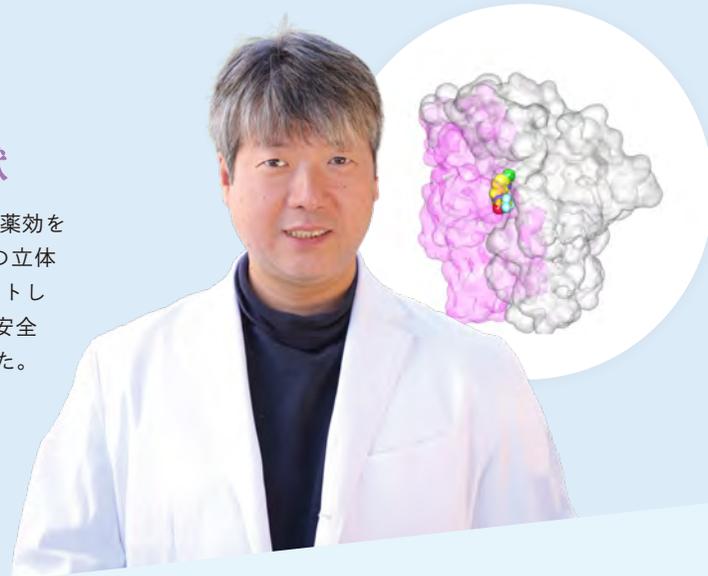
分子生命化学科

標的タンパク質のカタチを ガイドにして新薬の開発に貢献

薬は標的となるタンパク質に特異的に作用することで薬効を現します。そこで害虫の体内にある標的タンパク質の立体構造を解明し、薬物が作用するポケットの形にフィットした薬物分子をデザインすることで優れた薬効と高い安全性をもった農薬・動物薬のリード化合物を見出しました。この発見を基盤に企業による開発研究が進められ、世界の農業に貢献する新剤が誕生しました。

富澤 元博 先生

分子生命化学科 分子機能解析学分野
ケミカルバイオロジー研究室



分子微生物学科

塩害を受ける農地や海上での農業を 塩生植物由来の微生物で支える

高塩濃度の土壌において、作物の生育・収量は著しく減少します。一方、高塩濃度の海水で良く育つマングローブなどの塩生植物は、根に有益な微生物が共生しており、塩生植物が海水に適応することを助けています。我々は、塩生植物からこの有益な微生物を単離し、作物の塩ストレスを軽減する能力を持つことを発見しました。塩害農地や海上での農業に発見した微生物を利用することで、世界の食糧自給率増加に貢献します。

山本 紘輔 先生

分子微生物学科 生物間相互作用分野 植物共生微生物学研究室



PICKUP! もっと論文を見てみよう

バイオマスプラスチックの開発によって
新しい産業を生み出し
循環型社会を目指す



分子生命化学科 石井 大輔 先生

極限環境に生きる優れた生命力を持つ
微生物を探索し、未知の生命反応の
発見と社会への貢献をめざす



分子微生物学科 川崎 信治 先生

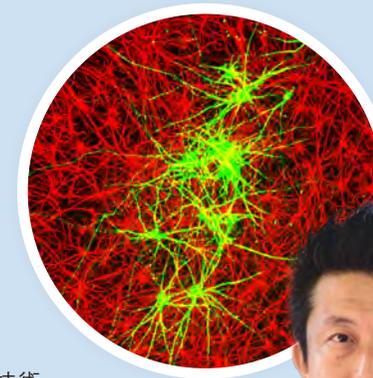
バイオサイエンス学科

脳機能を解明し、 脳疾患の原因究明へ貢献

記憶、感情、コミュニケーションといった脳の
高次機能制御の分子機構を研究しています。
具体的には、「遺伝子組み換えマウス」を用いた
神経回路・行動レベルの解析、また、iPS細胞技術
により作製した「ヒト(脳疾患患者)神経細胞」の機能解析に
より、脳の機能制御の分子機構とともに、脳疾患の発症機序
を研究してきました。得られた成果は、脳の動作原理の解明
のみならず、社会的に急務である脳疾患の解決に資するも
のです。

中澤 敬信 先生

バイオサイエンス学科 動物分野 動物分子生物学研究室



Features

「面倒見の良さ」×「高い研究力」で 思考力・行動力を伸ばします

東京農業大学 生命科学部では、3年生から全員が研究室に
所属します。各研究室では教員3人体制の手厚い指導の元、
高い研究能力を育みます。

この研究室活動を通して得られる「知識と証拠に基づいて
科学的に思考し論理的に行動できる能力」が、これからの
答えのない世界(社会)で求められています。



23区最大の研究棟「サイエンスポート」で実験しよう!



- 広くてキレイな研究室
- 最新の研究設備
- 面倒見のよい先輩たち

研究棟内部を
見てみよう!



※1: クラリベイト社 Web of Science 2017~2023.11月調べ 学術情報課程 棚橋佳子教授 提供

卵母細胞に備わる命を生み出す力
「全能性」のメカニズムを
追い求める研究



バイオサイエンス学科 尾畑 やよい 先生

劣悪環境に育つ植物のメカニズムを解明し、
砂漠化・地球温暖化に負けない
新しい作物を作り出したい



バイオサイエンス学科 太治 輝昭 先生

01
学部紹介

02
カリキュラム

03
研究成果

04
キャンパスライフ

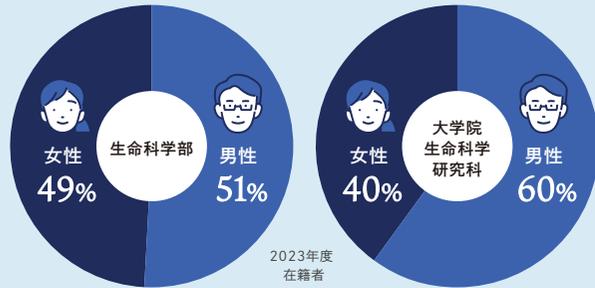
05
卒業生インタビュー

HELLO, CAMPUS LIFE!!

東京農大での1日
START!



意欲ある個性的な学生たちが
集まっています!



学部紹介
ムービーも
要チェック!



＼ 高い志願者数に注目! ／

農学系大学志願者

約5人に1人

農学系私立大学志願者

約4人に1人

＼ 志願度ランキング1位 ／

生物・農・獣医・林業・水産 (関東)



- 1位 東京農大
- 2位 明治大
- 3位 日本大
- 4位 東京農工大、他

「進学ブランド力調査2021」リクルート進学総研 (関東エリア)

東京農大志願者数22,189名 / 農学系大学志願者数109,046名 (約20%)
東京農大志願者数22,189名 / 農学系私立大学志願者数82,753名 (約27%)
2021年度河合塾調べ (関東エリア)

冒険は最良の師である —

(創設者 榎本武揚)

留学期間は
本学の授業料
全額免除
(諸会費除く)

■夏季短期留学プログラム

■短期留学プログラム例

留学先	期間	内容
アメリカ ミンガン州立大学	2週間	英語研修 + 講義 (農業)・施設見学
ケニア ジョモケニヤッタ農工大学	17日間	食・農・環境・栄養に関する講義 + 農業・研究施設訪問
カンボジア カンボジア王立農業大学	10日間	現地のパディと共に環境保全緑化活動 + 文化体験
カナダ ブリティッシュコロンビア大学	約1ヶ月間	英語研修

■長期留学プログラム

世界32カ国・地域にある44の協定校との
交換留学プログラム

- ・英語・学業成績の条件あり
- ・正規授業の履修または専門分野の学習や研究を行う
- ・JASSO 奨学金申請も可能

主な派遣先

ローヌ・アルプス農業栄養高等学院 (フランス)、ワーヘニンゲン大学 (オランダ)、国立中興大学 (台湾)、フィリピン大学ロスバニョス校 (フィリピン)、ジョモケニヤッタ農工大学 (ケニア)、IPB大学 (インドネシア)、マレーシアアトラ大学 (マレーシア)

Student voice

世界各地から学生が集まる
大学での生活は毎日が刺激的!



熱帯農業の現場や持続可能な農業に関心があり、中興大学では国際農業系の学部で学んでいます。校外学習やグループワークが豊富にあり、英語で専門的な内容を学ぶ経験は知識や語学力の向上に繋がりを、研究や進路に活かせると感じています。

バイオサイエンス学科 竹本 好花さん
(国立中興大学 台湾)

■カリフォルニア大学デイビス校との交流



バイオサイエンス学科は UC Davis と交流の歴史があります。シンポジウムの合同開催、教員の交流、世田谷キャンパスでの UC Davis の教授による特別講義などの実績があります。

■世界学生サミット

2023年度は、26ヶ国・地域 26 大学から 51 名の代表学生 (農大生 4 名) が発表者として参加しました。

PM1:00
構内のカフェでランチ♪



PM2:00
午後は研究実習
真剣に取り組もう!



PM5:30
構内や図書館で
自習もはかどる!





分子生命科学科卒
松藤 有香さん

化学物質を調査し、安心・安全な農業へ貢献

4年間を通して、農学・理学・工学・創薬化学など幅広い分野で構成される生命科学について、生物を理解するための化学を中心に学びました。特に印象深いのは「農業学」の授業で、実際に企業の方から講義を受ける機会も。農業が科学的根拠を基盤に安全性を確保していることを学び、化学物質への理解が深まりました。

卒業研究では、昆虫の化学感覚をテーマに、昆虫同士の意思疎通に用いられるフェロモンを活用して、環境への負担が少ない農業を開発できるか研究しました。信頼できるデータを世の中に提供する仕事を通じて安心・安全な農業に貢献していきたいです。

2023年3月卒業 | 東京都 都立 文京高等学校 出身 | 一般財団法人 残留農薬研究所



分子微生物学科卒
服部 夏さん

研究者目線で技術と知識を広めていく

解決策のない社会問題に対し、研究者として技術的に解決したいと考えていました。最先端の研究に触れられる東京農大に魅力を感じ、未知な部分が多い「微生物」に特化して学べる本学科を選択。現在は最新の設備を用いながら、花と訪花昆虫(ハチ類)に生息する未知乳酸菌の発見と微生物生態について研究をしています。

他学部の講義の受講にも力を入れ、農業経営に関する授業では、社会問題の解決には技術面の発見だけではなく、ノウハウの提供やシステムの構築など、人と人をつなぐことも大切だと学びました。研究者目線を活かして人、企業、国などのつながりを生む行政官として技術の周知に力を入れていきたいです。

2023年3月卒業 | 神奈川県 県立 湘南高等学校出身 | 環境省

学びを活かして未来を切り拓く

植物の生育について専門的に解明し、世界中の農地塩害の解決につながる研究を

高校の生物で習った植物の生育メカニズムが、自宅で育てていた野菜にぴったりあてはまったことが面白く、専門的に学びたいこの学科を選びました。また、動植物全般に興味があったので、動物・植物・微生物など幅広い生物学を学べるカリキュラムも魅力でした。

「植物細胞工学」の授業で、植物の成長など目に見える生命現象の要因は遺伝子にあることが知識として合致し、植物研究の奥深さを実感。現在は、植物遺伝子工学研究室で高濃度の塩ストレス下で植物が生育するのに必要な遺伝子を見つけ、植物体内での働きを研究中です。農地塩害という世界的な社会問題の突破口につながることを期待しています。

食を支える種苗メーカーで、アジア諸国の安定的な食環境を支えるために活躍したいと考えています。

2024年3月卒業 | 東京都 都立 武蔵高等学校出身
株式会社サカタのタネ



バイオサイエンス学科卒
鈴木 岳都さん

最先端テクノロジーを見つけ出すパイオニア 世界を舞台に創薬研究や医薬品開発を支える

総合試薬メーカーで、創薬や医薬品開発の基礎研究に不可欠な試薬や機材の提案、技術サポートを行っています。クライアントは製薬や食品メーカー、バイオ、微生物研究室など幅広く、その研究を支える使命感を持って取り組んでいます。入社10年目の現在、創薬の基礎研究に有効な製品や技術を世界中から見つけ出し、お客様への提案や技術サポートのためにアメリカ、ヨーロッパなど現地で技術を吸収して日本で展開することも増え、仕事の幅が大きく広がっています。

東京農大に進学したのは、遺伝子研究への興味と、醸造や造園などユニークな学科の存在に魅力を感じたから。ここでしか学べないことへの期待感と、個性的な学生との出会いにワクワクしたことを覚えています。

富士フィルム和光純薬株式会社 試薬化成品事業部R&Dマーケティング本部 導入品推進部 主任



バイオサイエンス専攻修了
久田 春香さん

充実した就職支援

就職支援
プログラム
公務員採用試験
対策講座 etc...

1人あたりの
求人が豊富

求人件数
全国平均の **3.4倍**

求人倍率 **5.12倍**
(全国平均 1.50倍)

業績別実就職率
上場企業 (食品26社)

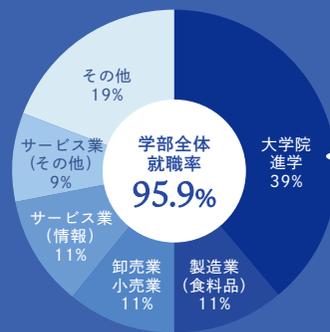
私立大学 **1位** 全国 **3位**

「学生数8,000人以上の大規模大学」
株式会社大学通信情報調査部

就職人気 No.1
公務員合格率実績

約700名
(過去3年間 公務員合格率実績)

国家総合、一般、専門職、
地方上級(都道府県、政令都市)、教員等



大学院進学で
研究開発・技術職への就職率UP!



多岐にわたる就職先実績 /

- カルビー株式会社
- 山崎製パン株式会社
- 森永乳業株式会社
- キュービー株式会社
- 日清食品株式会社
- 株式会社伊藤園
- 厚生労働省
- サントリーホールディングス株式会社
- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
- 三菱食品株式会社
- マルハニチロ株式会社
- 株式会社新日本科学PPD
- 株式会社ファンケル
- カネコ種苗株式会社
- ユニ・チャーム株式会社
- 環境省



東京農業大学
生命科学部

🔍 もっと知りたいならここをCHECK!



\\ キャンパス内部の
様子を見てみよう! //



📺 学部紹介ムービー

東京農業大学
生命科学部
ホームページ



世田谷キャンパス
アクセス
構内図

